

「平成26年度 技術開発・調査事業成果発表会」開催のご案内

主催： 経済産業省
資源エネルギー庁

事業実施： 一般財団法人
石油エネルギー技術センター

このたび下記要領にて技術開発・調査事業成果発表会を開催することとなりましたのでお知らせいたします。本発表会は、石油に係わる技術開発や調査事業の成果等に関する情報を広く国民の皆様に公開・普及することを目的として「石油精製環境分析・情報提供事業」の一環で実施するものです。

事業成果の発表に先立つ基調講演は、一橋大学 大学院商学研究科 教授 橘川武郎 氏に『石油産業の成長戦略』と題してご講演いただきます。ご活躍の分野を問わず、皆様に大変興味深く聴講いただけるものと思います。

発表テーマは、重質油処理に関わるプロセス技術開発（ペトロリオミクス技術）、海外の石油関連動向調査、製油所を拠点とする水素エネルギー供給技術開発、自動車・燃料の研究等、多岐にわたった内容となります。広く多数の皆様方のご参加をお待ち申し上げます。

- 開催日時 平成26年7月15日（火）
9:30 受付開始
10:00 開会
 - 開催場所 霞が関ビル35階 東海大学校友会館
〒100-6035 東京都千代田区霞が関3-2-5
<http://www.tokai35.jp/>
 - プログラム概要
10:00～10:05 主催者挨拶
10:05～10:55 基調講演
演題 『石油産業の成長戦略』
(一橋大学 大学院商学研究科 教授 橘川武郎 氏)
10:55～11:00 事務局からのご案内 (JPEC)
11:40～12:10 招待講演
演題 『ペトロリオミクスへの期待』
(JX日鉱日石エネルギー(株)
執行役員 中央技術研究所長 五十嵐仁一 氏)
11:10～17:00 発表、ポスターセッション
・口頭発表 (11:10～17:00)
・ポスターセッション (12:10～13:50)
※ポスターは11:00～15:30まで展示しています。
 - 参加登録 Webサイトにて可能な限り事前登録をお願いいたします。
(また、当日、受付にてお名刺を2枚頂戴いたしますので名刺をご持参下さい。)

参加登録受付URL	http://jpec.sakura.ne.jp/
-----------	---
 - 参加費 無 料
 - 交通案内 東海大学校友会館ホームページをご覧ください。
<http://www.tokai35.jp/staticpages/index.php?page=acc-000>
- お問い合わせ先 一般財団法人石油エネルギー技術センター(JPEC)
技術企画部 TEL 03—5402—8503

平成26年度 技術開発・調査事業成果発表会

口頭発表プログラム

拡がる石油の可能性、科学と技術で夢を実現！

《全体プログラム》

【第1会場(朝日・東海・三保・霞の間)】

10:00 ~ 10:05	主催者挨拶
10:05 ~ 10:55	基調講演 (一橋大学 大学院商学研究科 教授 橋川武郎 氏) 演題 『石油産業の成長戦略』
* 第1会場の主催者挨拶、基調講演は第2会場でもスクリーン(中継映像)でご覧いただけます。	
10:55 ~ 11:00	事務局からのご案内(JPEC)

【各会場】

11:10 ~ 17:00	口頭発表	第1会場(午前:朝日・東海・三保・霞の間/午後:朝日・東海の間)
11:10 ~ 17:00	口頭発表	第2会場(望星の間)
14:50 ~ 17:00	口頭発表	第3会場(三保・霞の間)
12:10 ~ 13:50	ポスターセッション	第4会場(阿蘇の間) (※ポスターは11:00から15:30まで展示)

《第1会場(午前:朝日・東海・三保・霞の間/午後:朝日・東海の間) 口頭発表プログラム》

セッション1 ペトロリオミクス・ミニシンポジウム「ペトロリオミクス技術の経営貢献 ~ペトロリオミクス技術が拓く先進的製油所の展望と技術開発の状況~」

11:10~11:40	『ペトロリオミクス技術からの招待状』 ~ペトロリオミクス技術が拓く先進的製油所の展望と技術開発の状況~	(JPEC技術企画部)
11:40~12:10	招待講演『ペトロリオミクスへの期待』	(JX日鉱日石エネルギー株) 執行役員 中央技術研究所長 五十嵐仁一 氏)
12:10~13:30	(昼休み & ポスターセッション)	

セッション2 ペトロリオミクス・ミニシンポジウム「ペトロリオミクス基盤技術開発の状況報告」

13:30~13:35	セッション概要	(JPECペトロリオミクス研究室)
13:35~13:55	分子構造に基づく重質油の分離技術確立	(JPECペトロリオミクス研究室)
13:55~14:15	重質油の詳細分析技術の確立	(JPECペトロリオミクス研究室)
14:15~14:35	分子反応モデリング技術の確立 ~ LCO水素化反応解析への適用 ~	(JPECペトロリオミクス研究室)
14:35~14:55	重油脱硫装置の流動反応連成モデルの設計コンセプト	(JPECペトロリオミクス研究室)
14:55~15:15	(休憩)	

セッション3 ペトロリオミクス・ミニシンポジウム「ペトロリオミクス実証技術開発の状況報告」

15:15~15:20	セッション概要	(JPEC技術企画部)
15:20~15:40	高度前処理・水素化処理による重質油分解プロセス技術開発	(袖ヶ浦第701研究室)
15:40~16:00	触媒劣化機構解明による難反応性原料の最適処理技術開発	(横浜第701研究室)
16:00~16:20	超重質油処理のための高度残油分解プロセス技術開発	(幸手第701研究室)
16:20~16:40	先進的超重質油改質(SPH)プロセスの開発	(鶴見第701/荒井第701研究室)
16:40~17:00	分解軽油等新規アップグレーディングプロセスの開発	(横浜第702/鶴見第702研究室)

《第2会場(望星の間) 口頭発表プログラム》

セッション4 水素エネルギー供給に関する技術開発

11:10~11:15	セッション概要	(JPEC自動車・新燃料部)
製油所での高純度水素精製用の新規分離膜プロセス技術に関する技術情報発信		
11:15~11:40	高効率水素製造等技術開発	(横浜第703研究室)
水素ステーション整備に係る技術課題と規制見直し検討に関する情報発信		
11:40~11:55	製油所水素の輸送等に関する技術課題と検討状況	(JPEC自動車・新燃料部)
11:55~12:10	水素輸送容器等に使用する金属の鋼種拡大	(JPEC自動車・新燃料部)
12:10~12:25	高圧水素を充填する複合容器の技術基準について	(JPEC自動車・新燃料部)
12:25~12:40	高圧容器への水素充填技術基準とJPEC自主基準	(JPEC自動車・新燃料部)
12:40~13:50	(昼休み & ポスターセッション)	

セッション5 我が国の石油産業に影響を及ぼす海外最新動向

13:50~14:00	セッション概要	(JPEC調査情報部)
14:00~14:30	新規開発重質原油の動向と海外製油所での処理事例	(JPEC調査情報部)
14:30~14:50	海外安全情報調査報告 ~ 製油所及びパイプライン等事故・トラブル情報の収集・提供 ~	(JPEC調査情報部)
14:50~15:20	最新の米国シェール動向と業績好調な独立系石油精製会社	(JPEC調査情報部)
15:20~15:40	(休憩)	
15:40~16:10	欧州気候変動・エネルギー政策と石油精製業界への影響	(JPEC調査情報部・欧州長期出張員事務所)
16:10~16:40	米国石油精製業界を取り巻く市場・政策動向	(JPEC調査情報部・米国長期出張員事務所)
16:40~17:00	中国の石油製品需給及び品質・環境規制動向	(JPEC調査情報部・中国長期出張員事務所)

《第3会場(三保・霞の間) 口頭発表プログラム》

セッション6 自動車・燃料研究

14:50~14:55	セッション概要	(JPEC自動車・新燃料部)
14:55~15:25	燃料性状変化に対する最新技術搭載車両のポテンシャル評価	(千葉第801研究室)
15:25~15:55	PM2.5濃度予測のための大気質モデル研究 ~ JATOP排出インベントリ ~	(JPEC大気研究WG)
15:55~16:15	(休憩)	

セッション7 製油所安全への取り組み・関連技術調査

16:15~16:20	セッション概要	(JPEC技術企画部)
16:20~16:40	海外保安規制と高経年設備対応調査	(JX日鉱日石リサーチ株)
16:40~17:00	ワイヤレスセンサーネットワーク技術の動向調査	(JPEC技術企画部)

※上記プログラムは平成26年6月17日現在のものです。事情により変更になる場合がございます。

平成26年度 技術開発・調査事業成果発表会

ポスターセッションプログラム

拡がる石油の可能性、科学と技術で夢を実現！

【12:10～13:50 ポスターセッション時間帯はテーマ毎に説明者が待機しておりますので、活発な情報交換をお願いいたします。】
 【ポスターは11:00から15:30まで会場に展示しています。】

《第4会場(阿蘇の間)》		
No.	テーマ名	研究室、事業者名等
ペトロリオミクス技術開発		
1	ペトロリオミクス技術の経営貢献と開発の現状	JPEC技術企画部
2	詳細組成構造解析技術(総括)	JPECペトロリオミクス研究室
3	分子構造に基づく重質油の分離技術確立	JPECペトロリオミクス研究室
4	重質油の詳細分析技術の確立	JPECペトロリオミクス研究室
5	分子反応モデリング(総括)	JPECペトロリオミクス研究室
6	分子反応モデリング技術の確立 ～LCO水素化反応解析への適用～	JPECペトロリオミクス研究室
7	ペトロ・インフォマティクス(総括)	JPECペトロリオミクス研究室
8	工学物性推算技術の開発	出光興産(株)
9	アスファルテン凝集挙動ワーキンググループ(総括・アスファルテン凝集モデル)	(独)産業技術総合研究所
10	ハンセン溶解度パラメータのアスファルテン凝集緩和への適用	関西大学
11	重油脱硫装置の流動反応連成モデルの設計コンセプト	JPECペトロリオミクス研究室
12	重油脱硫触媒設計モデルのコンセプト	JPECペトロリオミクス研究室
13	ポルフィリンの脱メタル反応機構の解明	島根大学
14	選択的脱アルキル触媒の開発	鳥取大学
15	高度前処理・水素化処理による重質油分解プロセス技術開発	袖ヶ浦第701研究室
16	触媒劣化機構解明による難反応性原料の最適処理技術開発	横浜第701研究室
17	超重質油処理のための高度残油分解プロセス技術開発	幸手第701研究室
18	先進的超重質油改質(SPH)プロセスの開発	鶴見第701／荒井第701研究室
19	分解軽油等新規アップグレーディングプロセスの開発	横浜第702／鶴見第702研究室
水素エネルギー供給に関する技術開発		
製油所での高純度水素精製用の新規分離膜プロセス技術に関する技術情報発信		
20	高効率水素製造等技術開発	横浜第703研究室
水素ステーション整備に係る技術課題と規制見直し検討に関する情報発信		
21	製油所水素の輸送等に関する技術課題と検討状況	JPEC自動車・新燃料部
22	水素輸送容器等に使用する金属の鋼種拡大	JPEC自動車・新燃料部
23	高圧水素を充填する複合容器の技術基準について	JPEC自動車・新燃料部
24	高圧容器への水素充填技術基準とJPEC自主基準	JPEC自動車・新燃料部
我が国の石油産業に影響を及ぼす海外最新動向		
25	新規開発重質原油の動向と海外製油所での処理事例	JPEC調査情報部
26	海外安全情報調査報告 ～製油所及びパイプライン等事故・トラブル情報の収集・提供～	JPEC調査情報部
27	最新の米国シェール動向と業績好調な独立系石油精製会社	JPEC調査情報部
28	欧州気候変動・エネルギー政策と石油精製業界への影響	JPEC調査情報部・欧州長期出張員事務所
29	米国石油精製業界を取り巻く市場・政策動向	JPEC調査情報部・米国長期出張員事務所
30	中国の石油製品需給及び品質・環境規制動向	JPEC調査情報部・中国長期出張員事務所
自動車・燃料研究		
31	燃料性状変化に対する最新技術搭載車両のポテンシャル評価	千葉第801研究室
32	PM2.5濃度予測のための大気質モデル研究 ～JATOP排出インベントリ～	JPEC大気研究WG
製油所安全への取り組み・関連技術調査		
33	海外の保安規制と高経年設備対応調査	JX日鉱日石リサーチ(株)
34	ワイヤレスセンサーネットワーク技術の動向調査	千代田化工建設(株)

※上記プログラムは平成26年6月17日現在のものです。事情により変更になる場合がございます。